

## 記念講演会

# さきたま あれから これから

### ★記念講演

白石太一郎氏（国立歴史民俗博物館名誉教授）

『埼玉古墳群とヤマト王権—稲荷山古墳鉄剣銘文が語るもの』

西山要一氏（奈良大学名誉教授）

『稲荷山古墳鉄剣銘文発見と日本の象嵌銘刀剣』

### ★座談会 『稲荷山古墳発掘調査 50 年と鉄剣銘文発見 40 年』

白石太一郎氏 西山要一氏

高橋一夫氏（元埼玉県教育委員会職員） 今泉泰之氏（元埼玉県教育委員会職員）



指定  
80年!

発掘  
50年!

発見  
40年!



平成31年2月17日(日)

12:00開場

13:00開演(16:30終了予定)

埼玉会館大ホール(さいたま市浦和区高砂3-1-4)

参加費：無料(要事前申込み)※申込み方法は裏面をご覧ください

定員：1,200名

主催：埼玉県教育委員会

埼玉古墳群史跡指定80周年・稲荷山古墳発掘調査50周年・鉄剣銘文発見40周年

## 記念講演会「さきたま あれから これから」

平成30年は、埼玉古墳群が国史跡に指定されてから80年、稲荷山古墳の発掘調査から50年、稲荷山古墳から出土した鉄剣の銘文が発見されてから40年にあたります。それを記念して、国立歴史民俗博物館名誉教授の白石太一郎氏、奈良大学名誉教授の西山要一氏をお招きして講演会を開催します。日本の古墳時代における埼玉古墳群の位置づけ、鉄剣銘文発見のいきさつやエピソードなどお話しいたします。また、座談会では、稲荷山古墳の調査に直接たずさわった元県職員も交えて、当時を振り返りながら、これまでの研究成果を総括しつつ、将来の考古学研究に埼玉古墳群が果たす役割を考えます。

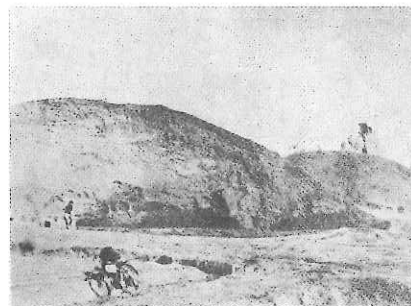
### 講師紹介



#### 白石 太一郎氏

1938年、大阪市出身。同志社大学大学院修了後、(財)古代学協会研究員、奈良県立橿原考古学研究所所員、国立歴史民俗博物館教授・副館長、奈良大学文学部教授等を歴任し、2018年に大阪府立近つ飛鳥博物館長を退任。現在、国立歴史民俗博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授、大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長。

全国的視野から古墳時代についてダイナミックに論究。学術論文から一般向け書籍まで数多くの著作を世に出している。



昭和12年ごろの稲荷山古墳  
(史跡指定直前 まだ前方部が残っている)



#### 西山 要一氏

1949年、大阪府出身。龍谷大学卒業後、(財)元興寺文化財研究所で研究員として勤務の後、奈良大学講師・助教授・教授を歴任し、2015年に退職。現在、奈良大学名誉教授。

専門は保存科学で、元興寺文化財研究所勤務の1978年に、稲荷山古墳出土遺物の保存処理を担当し、鉄剣の銘文を発見した。日本文化財科学会事務局長等も勤め、国内外の貴重な文化財の保存・修理事業に尽力している。



昭和43年 稲荷山古墳発掘調査風景

#### 高橋 一夫氏

1946年、埼玉県出身。國學院大學大学院卒業後、1971年から埼玉県教育局に勤務。文化財保護に関わる業務を歴任し、2007年埼玉県立歴史と民俗の博物館長を退任。その後は国土館大学、目白大学、淑徳大学等で講師を勤めた。

#### 今泉 泰之氏

1946年、埼玉県出身。國學院大學在学中の1968年に稲荷山古墳の発掘調査に参加。1971年から埼玉県教育局に勤務し、鉄剣修理事業の際には事務局(県立さきたま資料館学芸員)を勤めた。2007年に(財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団調査部長として埼玉県を退任した。



昭和53年 鉄剣銘文研ぎ出し作業

### 申込み方法

往復はがき または さきたま史跡の博物館ホームページの電子申請

申込み期間：平成30年12月1日(土)～平成31年1月21日(月) 当館必着

※1通(1申請)につき4名まで応募可能です。

※往復はがきには、「記念講演会参加希望」と記入の上、応募者全員の住所・氏名・電話番号を明記(返信用はがきにも代表者の郵便番号・住所・氏名を記入)してください。

※応募多数の場合は抽選となります。

【問い合わせ・往復はがき送付先】

### 埼玉県立さきたま史跡の博物館

〒361-0025 埼玉県行田市埼玉4834

電話 048-559-1181 FAX 048-559-1112

<http://www.sakitama-muse.spec.ed.jp/>



埼玉県マスコット  
「ざいたまっち」「コバトン」